

清須市はるひ絵画トリエンナーレ アーティストシリーズ Vol.97

MITOS 展 静寂のリズム

2022年1月15日(土) - 2月6日(日)

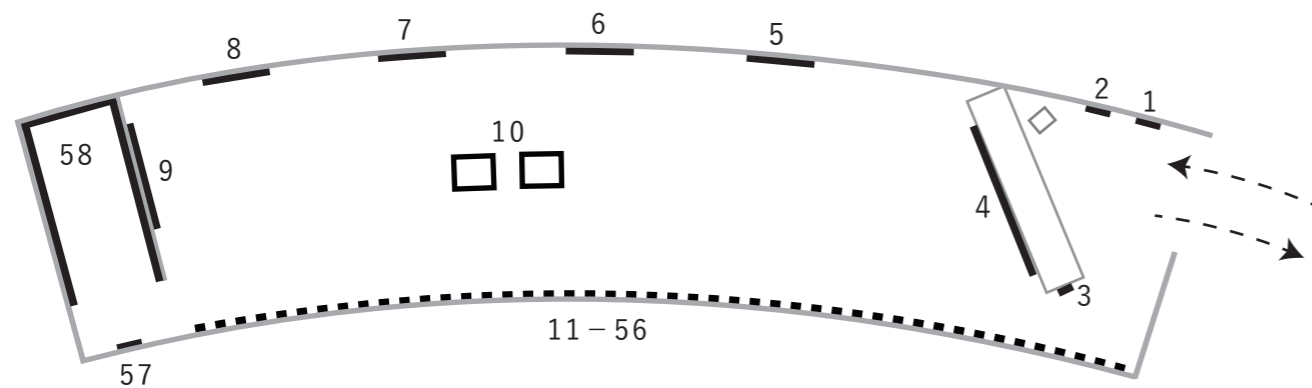
清須市はるひ美術館

アーティストシリーズは、公募展「清須市はるひ絵画トリエンナーレ」の受賞者を1名ずつ個展形式で取り上げる展覧会です。97回目となる本展では、第10回清須市はるひ絵画トリエンナーレで審査員賞を受賞したMITOS(ミトス/1985-)をご紹介します。

MITOSは美術や音楽、文学から着想し、描くことを通して色、線、形など、絵画を構成する要素のあり方を探求しています。出品作《線》や《色と線》は、一見、規則性のある均一に引かれた線の集合ですが、よく見るとかすれや揺らぎなどのわずかな差異が浮かび上がります。また、彼の作品に見られる多様な色の組み合わせは、高校生の時に出会ったヨハネス・イッテンの『色彩論』から影響を受けているそうです。

MITOSの言う「偶然性を手練り寄せるための装置を設計し、発明する」ことは、秩序の中に生まれるズレやゆがみに意識を向け、あえて制約を設けながら描く行為に結び付けられるのではないのでしょうか。

本展では、受賞作や同シリーズの新作、油彩による大型作品、身近な人物を線で描いたドローイング、そして新たに光の要素を取り入れた写真作品などを通して、MITOSの多様な表現をたどります。



1. 際

油彩、キャンパス
72.7×60.6 cm 2020年

2. 詩

油彩、キャンパス
72.7×60.6 cm 2021年

3. ストローク

油性ペン、キャンパス
15.8×22.7 cm 2021年

4. 線の集積

油彩、油性ペン、キャンパス
194×375.7 cm 2022年

5. 線

油彩、油性ペン、キャンパス
162×162 cm 2022年

6. 線

油彩、油性ペン、キャンパス
162×162 cm 2021年

7. 線

油彩、油性ペン、キャンパス
162×162 cm 2021年

8. 線

油彩、油性ペン、キャンパス
162×162 cm 2021年

9. 間

油彩、キャンパス
181.8×227.3 cm 2022年

10. 光と線

ミクストメディア
5.6×3.6 cm 計100点 2021年

11-56. 色と線

油彩、油性ペン、キャンパス
22.7×15.8 cm 2021-2022年

57. リズム

油彩、キャンパス
72.7×60.6 cm 2022年

58. ライブドローイング

油性ペン、ジェッソ、ダンボール
サイズ可変 計141点 2013-2022年

支持体という物質に対して絵の具という物質を乗せてゆく作業の中で、物差しの外側への展望が生じてくる。偶然性を手繰り寄せるための装置を設計し、発明する。私は何を描くかより、線そのものへの関心が強い。一喜一憂しながら壊れた玩具の如く反芻してゆく。絵画の線とは何だろう？と常に問いながら。

MITOS

1985 生まれ
2008 名古屋造形大学美術学科 洋画コース卒業

[主な個展]
2018 signal (金山ブラジルコーヒー / 愛知)
2017 波浪 (The Blue Box Gallery / 愛知)
2012 僕の秘密基地 (PI gallery / 愛知)

[主なグループ展]
2021 清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ (清須市はるひ美術館 / 愛知)
2020 - 2021 無能服十月十日展 (MUNO / 愛知)
2019 ART START UP 100 (代官山ヒルサイドテラス / 東京)

[受賞歴]
2021 はるひ絵画トリエンナーレ 審査員賞
2016 豊田市文化振興財団賞